

## シリーズ：子どもの権利

### 私たちのまちの公園～公園めぐりで気が付いたこと～

No.20

7月26日にせんなん子ども会議のメンバーで、市内の公園めぐりをしました。大変暑い日でしたが、調査項目を片手に12名が3グループにわかれて10か所の公園を訪れました。



公園には木が植えられ、ベンチが備わり、いくつかの遊具があって、子どもたちが遊びにくることを待っているかのようでした。ただ、訪れたのが夏の日中だったので、遊具もベンチも熱く、人影はまばらでした。セミが元気よくなき、バッタがとんでいました。ごみ拾いもしましたが、きれいに清掃されている公園もありました。地域の皆さんのおかげだと思います。

泉南市には100以上の公園があり、ほんの一部をめぐっただけですが、ブランコにのったり、すべり台をすべったり、うんていに挑戦したりしながら、現状を確認していました。あずまやをみつけては、「おしゃべりする場所があればよい」という感じのメンバーもいました。

子どもたちの感想を紹介します。

「泉南市には公園がいっぱいあったから遊びに行こうと思

った」

「泉南市以外の公園も見たいと思った」

「すべり台の裏にらくがきがあって、消したいなあと思った」

「トイレをきれいにしたいと思った」

「落書きは遊具にも、ベンチや柱にも書いていたので、なぜそういう事をするのか知りたいと思った」

「ごみを捨てないようにしようと思った」

子どもたちの学校や家庭以外の遊び場所、異なる年齢の方と交流する場所、憩いの場所として、公園はとても大切だと思います。今後は、維持するための工夫や大変さを学んだり、よりよく使用するための方法を考えたりしたいと思います。



**【問合せ】** 泉南市子どもの権利に関する条例事務局

(人権教育課 ☎ 483-3672 / FAX483-7306 /

e-mail:jinkenkyouiku@city.sennan.lg.jp)